

Red Hat Ansible Automation Platform 2 に移行すべき 5 つの理由

Red Hat® Ansible® Automation Platform 2 は、アーキテクチャの更新、新しいツールの導入、パフォーマンスの向上により、ハイブリッドクラウド上の IT 自動化のための強固な基盤を提供します。この最新版のプラットフォームでは、自動化機能を大幅に増強するとともに、自動化をアプリケーション開発ライフサイクルにより深く拡張し、新しく先進的な IT ドメインにより広く拡大します。このチェックリストでは、Ansible Automation Platform 2 に移行すべき理由トップ 5 をご紹介します。

1 必要なものを必要な場所で自動化する

IT 企業は、データセンターと先進的なクラウドサービスの架け橋となる自動化プラットフォームを必要としています。Ansible Automation Platform 2 は、お客様があらゆる環境において一貫性を持って自動化を作成、管理、拡張できるよう支援します。

Red Hat Ansible Automation Platform 2 のリリースでは、`automation mesh` や `automation execution environment` などの人気の機能を備えた再構成されたアーキテクチャが提供されます。また、開発者や運用チームが標準化された方法で組織全体の自動化を効率的かつ透過的に拡張できるようにする、ツールやコンポーネントのスイートも完備しています。

Red Hat のサブスクリプションは、認定された自動化コンテンツとエコシステム統合の広範なライブラリへのアクセスを保証します。ベンダーやクラウドにまたがる相互運用性を備えているため、自信を持って自動化戦略を構築することができます。

2 自動化チームをまとめる

自動化ツールは、もはや専門家だけの領域ではありません。IT 運用チームと開発者の両方が自動化担当者としてサポートされるべきであり、そのためには可搬性と柔軟性が高く、IT フットプリントを越えて拡張可能な自動化テクノロジーが必要です。

Ansible Automation Platform 2 では、Red Hat Ansible Engine の代わりとなる `automation execution environment` の概念を導入し、組織全体で簡単に複製して繰り返すことができる自己完結型の自動化環境を提供します。

この一貫性により、チームが協力してより迅速かつ効率的に自動化を作成、管理、拡張することができます。

自動化サービスカタログや Ansible Automation Hub などの機能により、チーム間での自動化の共有がこれまで以上に容易になり、[Red Hat Insights](#) はリアルタイムの分析とレポートを提供します。

3 より良い自動化エクスペリエンスを生み出すために新しいツールを得る

Ansible Automation Platform 2 には、自動化の開発者、作成者、IT 運用チーム間で自動化の構築とデプロイをより効率的に行うための新しいツールが含まれています。

`execution environment builder (ansible-builder)` は新しいコマンドライン・ツールであり、コンテナ化された個別の Ansible 環境を構築します。このツールは、自動化の作成者やオペレーターが業務に必要な Ansible コンテンツを含む実行環境 (EE) を構築および配布できるようにし、自動化が必要な場所でこれらの EE を繰り返し信頼できる方法で共有および使用できるようにします。

`automation content navigator (ansible-navigator)` は、自動化の作成担当者と開発者向けのトップレベルのプラットフォーム・インタフェースです。Ansible Automation Platform 2 にバンドルされているコマンドライン・インタフェースまたはテキスト・ユーザー・インタフェースとして使用することができます。これにより最大規模の環境であっても、自動化コンテンツが期待通りに動作していることを検証できるようになりました。このインタフェースは、開発者用ワークステーション、ステージング・プラットフォーム、プロダクションに至るまで、自動化担当者がシステム全体の運用の一貫性を維持するのに役立ちます。



Red Hat Ansible Automation Platform

チェックリスト

4 パフォーマンスを大幅に向上させる

アップデートされた automation controller (旧 Red Hat Ansible Tower) により、より確実かつ一貫的にオンデマンドで自動化を拡張し、企業全体の自動化の不規則性を低減しながら自動化の実践を標準化する体系的なアプローチを取ることができます。

automation controller 4.1 では、Ansible Tower 3.8 と比較してパフォーマンスが大幅に向上しています。¹

- ▶ 平均的な作業時間が最大 22% 減少
- ▶ ジョブイベントの処理時間が最大 23% 短縮
- ▶ クリーンアップジョブのランタイムが最大 98% 減少
- ▶ 分析データ収集のランタイムが 60% 減少

5 新たな領域を開拓し、スケールアップとスケールアウトを実現する

Ansible Automation Platform 2 の最も重要な新機能の 1 つは、オープン・ハイブリッドクラウド全体で大規模な自動化を可能にする automation mesh コンポーネントです。

automation mesh にはオーバーレイネットワークが組み込まれており、自動化を必要な場所に近づけることで、セキュリティファーストのアプローチにより、分散型、リモート、またはその他の複雑な自動化デプロイメントの展開において最大限の柔軟性をもたらします。

これによりコントロールプレーンと実行プレーンの容量を個別にスケールでき、柔軟でフォールトトレラントな設計が可能になり、長時間のレイテンシーと接続の中断に対する回復力が得られます。

データセンターからクラウド、エッジ環境まで、分散したネットワーク、複数の地域、多様な環境にわたって自動化を拡張することで、自動化への投資を最大化することができます。

この拡張性は、セキュリティ機能を犠牲にすることなく柔軟性とレジリエンシー (回復力) を実現するため、自動化の導入と拡張をより効果的に行うことができます。

エキスパートから学ぶ

Red Hat コンサルティングがお客様の**自動化導入を迅速化**するお手伝いをいたします。詳細をご覧ください。

Web セミナーを見る

オンデマンドの Web セミナーで Ansible Automation Platform 2 の詳細をご確認ください。[Red Hat Ansible Automation Platform](#) は、**自動化のための新しい方法を提供**します。

自動化プラクティスのアセスメントを受ける

自動化の導入を具体化し、Ansible Automation Platform への移行を計画するための**カスタマー・エンゲージメント**をご希望の方は、Red Hat コンサルティングにお問い合わせください。

今すぐ試す

Red Hat Ansible Automation Platform が組織の自動化にどのように役立つかについて、**60 日間の無料トライアル**でご確認ください。

¹ 環境によって結果が異なる場合があります。これらの数字は、Ansible Tower 3.8 と Automation controller 4.1 のタスクパフォーマンスを直接比較し、Red Hat Ansible Automation Platform エンジニアリングチームによって収集された結果を反映しています。詳しい結果はこちらの[ブログ記事](#)をご覧ください。



Red Hat について

Red Hat は、**受賞歴のある**サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

f fb.com/RedHatJapan
t twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

03 4590 7472

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052

jp.redhat.com
#F31309_0322

Copyright © 2022 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat ロゴ、および Ansible は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。